



平成30年10月号(隔月発行)

札幌司法書士会 会長 里村美喜夫 編集担当責任者 番井菊世 <http://www.sihosyosi.or.jp/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地 電話 011-281-3505 FAX 011-261-0115

## 北海道胆振地方中東部 地震発生



平成30年9月6日午前3時07分、胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震が発生しました。この「平成30年北海道胆振東部地震」により、厚真町、安平町、むかわ町における甚大な被害をはじめ、札幌市内でも各所で大きな被害を受けたほか、北海道全域で長時間の停電が発生したことから、市民生活、社会活動にも大きな被害と影響が生じました。被災されたみなさまへ、心からお見舞いを申し上げます。

これまで大きな災害が発生するたびに、被災者を支援しようとする善意につけこんだ不正請求や、不当に損失を転嫁しようとするなどの事案が起きてきました。このような被害を防ぐため、また、近隣トラブルへの対応や法的情報の提供のため、札幌司法書士会では、9月10日より、緊急の電話相談窓口として、「北海道胆振東部地震緊急ダイヤル」を開設しています。

### 札幌司法書士会

北海道胆振東部地震緊急ダイヤル(相談無料)

電話番号 フリーダイヤル

0120-115-559

受付期間 平成30年9月10日から当分の間

受付時間 月～金(祝祭日を除く)

10:00～16:00

開設から9月末までの間に73件の相談があり、現在も相談が寄せられています。「隣の家の煙突が倒れてきて、被害が発生したが、賠償してもらえるか?」「賃貸アパートに住んでいて被害を受けたが、大家さんにどこまで対応してもらえるのか?」など、地震による建物の被害に関する相談のほか、り災証明書や住宅再建支援制度に関するものなど、内容は様々です。

緊急ダイヤルでは、法律相談のほか、様々な公的支援についてのアドバイスも行っています。

札幌司法書士会では、前記の電話相談に加え、厚真町、安平町、むかわ町の各避難所を訪問して巡回法律相談も行っています。また、民事に関する140万円以下の紛争に関する裁判外紛争解決手続(ADR)も扱っていますので、震災トラブルの解決手段としても活用いただければと思います。

### 想定される付けこみトラブル事案

#### ☑ 損害保険が使用できると言っていて、家の修繕工事などを請け負うと勧誘される

→ 不要な工事をされ、保険会社に高額を支払いをさせる手口があります。素人では判断が難しい工事は信頼できる事業者へ依頼しましょう。

#### ☑ 義援金を送ると言っていて寄附金を求める

→ 架空の団体を偽って、人の善意につけ込み寄附金をだまし取ろうとする手口があります。こちらも、寄附などは信頼できる機関をとおして行いましょう。

#### ☑ 不安を煽る靈感商法

→ 大きな地震を経験し、不安を感じていることにつけ込み、根拠の乏しい詐欺的な靈感商法を行う手口があります。十分に気をつけましょう。

## さっぽろレインボープライド

(2018年10月7日開催)に参加しました！

さっぽろレインボープライドは、地域社会に対し身近にLGBTの人たちが存在することを広く知らせるため、また、孤立するLGBTの人たちに対して自らの存在を肯定的に捉えられるよう情報を発信するため、などを目的に開催されました。

当日の朝は台風のため雨が降っていましたが、パレード開始の頃には青空が広がり、暑くなく寒くなく、絶好のパレード日和でした。昨年よりも参加者は多く、680人(公式サイト発表)が参加し、大通6丁目から市役所のあたりをパレードしました。きらびやかなドラッグクイーンの皆さんを乗せた車を先頭に、レディガガの曲に合わせて歩くのですが、沿道の方が飛び入り参加したり、用事があるから途中で抜けたり、自由な雰囲気でした。途中、参加者が一斉に風船をリリースし、色とりどりの風船が空に舞う様子は幻想的でした。みなさまも来年は一緒に歩きませんか？

公式ウェブサイト

<https://www.sprrainbowpride.com/>



## お知らせ

シンポジウム開催します！

広域連携による成年後見利用促進

～市民のための新しい成年後見制度を目指して～

日時 11月17日(土) 13:00～16:30

場所 札幌教育文化会館4階講堂

参加費無料 事前の参加申込必要

お問い合わせ リーガルサポートさっぽろ

TEL011-280-7078

## ヘルプマークを知っていますか？

札幌市がヘルプマークの配布を始めてから、ちょうど1年が過ぎました。利用されている方をよく見かけようになりましたが、このマークを見かけた際に、どのような配慮が必要かご存じのない方もいると思います。



イメージ図

この記事を読んだ方に、少しでもヘルプマークについて知っていただき、支援の輪が広がるとよいと思います。

そもそもヘルプマークとは、周りの方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。たとえば、義足や人工関節を使っている方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見からは援助や配慮が必要なことが分からないような方がつけています。

このマークをつけている方を見かけたら、たとえば、電車やバスの中で席を譲ったり、緊急時や災害時に声をかけるなどの思いやりのある行動がとれるとよいと思います。

また、マークの裏面には具体的に必要な支援が書かれている場合もありますので、困っている方がいたら、確認してみるのもよいかもしれません。

ヘルプマークの配布や推奨は地方自治体が個別に取り組んでおり、マークが違ったり、導入前の市町村もあります。全国に広がるといいですね。

## 編集後記

かつてない揺れと、経験したことのない長時間停電でした。私はLEDの懐中電灯(ストラップつき)を、寝室の窓のカーテンフックにかけています。暗い時間帯に最も長く滞在しているのが寝室で、窓のそばは手探りしやすく、足元も危なくなく、日常生活で邪魔にもならないので、オススメの場所です。今回の停電でもすぐに手にすることが出来ました。また、LEDライトは、明るく電池も長持ちです。白色LEDを実現できた3人の日本人ノーベル賞受賞技術者へこれほど感謝した瞬間はありません。太古からある自然の驚異と人間の技術進歩を肌で感じる経験でした。

(K. T)